



広報

なは



第764号毎月1回発行

2014年(平成26年)

9月

市の人口と世帯	
※()内はうち外国人	
2014(平成26)年7月末現在	
総人口	322,549(2,606)
男	156,034(1,454)
女	166,515(1,152)
世帯数	143,512(1,467)

発行：那覇市
編集：秘書広報課
〒900-8585 那覇市泉崎1丁目1番1号
☎(代表)867-0111
印刷：有限会社サン印刷

なは モビリティウィーク & カーフリーデー

9.16(火) ▶ 22(月)

~Our Streets, Our Choice (私たちのみちは、私たちの選択で)~



お問い合わせ

都市計画課 TEL951-3246

<http://www.city.naha.okinawa.jp/kakuka/tokei/cfd/>

交通と都市環境について考える「モビリティウィーク&カーフリーデー」。

本市では、今年で8回目を迎えます。ヨーロッパなどでも世界2000都市以上で開催され、特に中心イベントとなる「カーフリーデー」では、国際通りトランジットモールのように、マイカーを規制し、排ガスや騒音、事故など車の脅威をなくすることで、車に頼らなくても日常生活に支障がないことを実感してもらおう取り組みが行われています。

普段、クルマを使う時間をバスやモノレールに変えて、本を読んだり、景色を楽しんだり、あなたの「自由時間」にしてみませんか。

「那覇市の交通まちづくり」

那覇市は東京23区以上に交通渋滞がひどく、大きな社会問題となっています。一般的に、交通渋滞を緩和するためには、経路、時間、手段の3つの分散が効果的といわれています。

経路の分散

バイパス道路をつくるなど1か所に集中する車を分散すること

時間の分散

時差出勤やフレックスタイムの導入など、出勤時間をずらすことで、朝夕の出勤ピーク時間の車の利用を分散すること

手段の分散

マイカーに偏った利用を公共交通や徒歩、自転車に転換を促すことで、道路の利用を分散すること

この3つの分散を推進し、移動を効率的に行うことができるよう、市では交通基本計画を策定し、市内交通渋滞の緩和に向けて計画的な取り組みを進めています。

※交通基本計画については、那覇市ホームページをご覧ください

「車を置いて街に出よう!」

近所への買い物は歩いて行く、たまにはバスやモノレールを使って出勤する、車を利用するときは1人でなく相乗りで利用するなど、私たちの暮らしのなかに、車に頼りすぎない生活を取り入れてみませんか?

なはモビリティウィーク&カーフリーデーでは、交通に関する様々な取り組みや、知って良かった「交通情報の紹介、体験イベントなどを実施し、車に頼りすぎない暮らしの社会啓発を行っています。

カーフリー宣言募集中!

車に頼りすぎない生活を心がけてもらう「カーフリー宣言」を募集しています。

抽選でモノレールで使える一日乗車券が当たる!!

那覇カーフリーデー 検索



主な紙面

- 特集 なはモビリティウィーク&カーフリーデー
- ヘルストリビューン
- ほけんインフォメーション
- 那覇市の財政事情
- 情報バック
- 協働さん/博物館トピックス/ニュースダイジェスト

国際通りも「カーフリーデー」を応援!!

9.1月~10.31金



国際通りのカーフリーデー応援店舗にて、公共交通で来店された方には、グッズのプレゼントや割引特典が受けられる「カーフリーデー応援キャンペーン」を実施! バスやタクシーの車内、モノレール駅内にある『クーポン』を持参してね♪



イベント

9/20(土) ▶ 9/21(日)

15:00~21:00
場所 さいおんスクエア (はいさい市合同開催♪)

ポスターコンクール表彰式 9.20

セグウェイに乗ってみよう! 9.20~21

このフシギな乗り物に乗って未来の交通を感じてみよう!

20日(15:00~19:00)

21日(13:00~17:00)

イベント会場にて当日受付!



体験無料

13:00~17:00

場所 国際通り (トランジットモール)

バリアフリー体験教室 9.20~21

ノンステップバスを使用した車いす体験、アイマス体験等のバリアフリー体験教室を開催!

なはまちなかウォーク 要申込 9.21

いつもはクルマで通り過ぎてしまう景色を「那覇まちま〜い」ガイドが奥の奥までご案内します。今まで知らなかった那覇の顔が見えるかも♪

申込 那覇まちま〜い事務所 ☎860-5780



検証

50人が移動するのに必要な空間

上の写真は、50人の人が「1人乗りの車」「バス」「LRT(路面電車)」「自転車」で移動した場合の写真です。それぞれの写真を比べてみると、いかに車が場所をとる乗り物かということがわかります。那覇市内における朝夕ピーク時の旅行速度(信号待ちや交通渋滞による停止を含む移動に要した時間)は、全国の県庁所在地の中でワースト1位。その速度は自転車並みの12.9km/hで、渋滞が深刻な社会問題になっています。

車は便利な移動手段ですが、あまりに偏った利用は、交通渋滞だけでなく、公共交通機関の衰退を引き起こし自家用車を持たない交通弱者の移動を制約したり、駐車場所の確保・道路整備など非効率な都市空間を形成したりと、さまざまな弊害をもたらします。



※写真提供:高岡エコライフ撮影会・RACDA高岡 小林一也氏撮影